


横浜市立上白根小学校 横浜の時間(総合的な学習の時間) 全体計画

(第1の目標)	上白根小学校 学校教育目標
探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。	<p style="text-align: center;">「ともに生きる子 ～信頼と安心と笑顔の学校～」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○よさを発揮し粘り強く取り組む子 (知) ○自分も友達も大切にすること (徳) ○心と体を健やかに育む子 (体) ○上白根のまちに生きまちとともに歩む子 (公) ○ともに学び合い高め合う子 (開) 

上白根小学校 総合的な学習の時間の目標
<p>問いをもち、主体的に課題解決に取り組むことを通して、学力(学ぶ意欲、考える力)と人間関係力(協働して学び合う力)を育成することを目指します。</p> <p>(1) 地域の人、もの、ことに関わる探究的な学習の過程において、地域の特徴やよさや、それらが人々の努力や工夫によって支えられていることに気づき、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに、探究的な学習のよさを理解できるようにする。【知識及び技能】</p> <p>(2) 地域の人、もの、ことの中から問いを見出し、自分で課題を立てたり、情報を集めて整理・分析したりする力を付けるとともに、考えたことを、根拠を明らかにしてまとめ・表現することができるようにする。【思考力・判断力・表現力等】</p> <p>(3) 地域の人、もの、ことについての探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、自分にできることを考え、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。【学びに向かう力・人間性等】</p>

- ・よりよく問題を解決する資質や能力
- ・学び方、ものの考え方
- ・主体的、創造的、協働的に取り組む態度
- ・自己の生き方

上白根小学校 総合的な学習の時間の内容

	目標を実現するにふさわしい探究課題	探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力		
		知識及び技能	思考力、判断力、表現力	学びに向かう力、人間性等
中学年	上白根小学校や地域の「友達・まち・自然」とのふれあいの中から見つけたそれらの魅力や価値、それに関わる人々の思いや願い等	【固有性・地域性】 上白根の「友達・まち・自然」には、それぞれ魅力や特徴があること。	【課題の設定】 共通課題を通して自分の思いや願いをもち、取り組む課題を設定し、協働的に解決の方法を考えたり取り組みの順番を考えたりする。	【思い・願い】 生活経験や学習経験を基に、興味・関心のあることから自分たちの力で追求していきたい課題をもち、その実現に向けて粘り強く取り組もうとする。
		【つながり】 「友達・まち・自然」に関わる人々には思いや願いがあり、その人どうしの温かい関わりがあること。	【情報収集】 課題に沿って他者と関わり、試行錯誤したり方法を工夫したりして情報を集める。	【対話】 他者の存在を意識し、相手が伝えようとしていることを聞き、自分の意見と比べてよさや違う点を見つけたりつなげたりしようとしている。
			【情報の整理・分析】 比較したり、分類したり、関連付けたりしながら情報を分かりやすく整理する。	【他者理解・自己理解】 他者と一緒に活動する喜びを味わい、異なる立場や考えをもつ相手のことを認め、理解しようとする共に、よりよい生活をしようとする。
			【まとめ・表現】 相手や目的に応じて、内容や目的にあった方法で分かりやすくまとめたり表現したりする。また、自分の伝えたいことを明確にし、方法を工夫しながら伝える。	【社会参画・社会貢献】 自己の生き方を考え、夢や希望をもとうとするとともに、進んでまちや人に関わっていかうとする。
高学年	上白根小学校や地域の「友達・まち・自然」とのふれあいの中から見つけたそれらの魅力や価値、問題解決に向けて協働的に取り組むことによる達成感等	【地域性・関係性】 上白根の「友達・まち・自然」は相互に関わり合い、様々な魅力や価値、問題があること。	【課題の設定】 共通課題を通して自分の思いや願いをもち、解決する価値のある課題を設定し、根拠を明確にしながら仮説を立て、確かな見通しをもつ。	【思い・願い】 生活経験や学習経験、実社会の問題等を見つめ直し、上白根のまちにとって意味や価値があると考えられる目的を見出し、その実現に向けて粘り強く取り組もうとする。
		【参画・協力】 課題には、まず自分が主体的に取り組むこと、そしてチームで協働的に取り組むことが大切であること。	【情報収集】 課題に沿って方法を吟味して、協働したり、体験したりする工夫を凝らし、より効率的・効果的な手段で方法を集める。	【対話】 相手の立場や意図を意識し、自分の考えと比較しながら、批判的に開いた共感できる部分を見つけたりして、一緒に新たな見方や考え方を生み出そうとする。
			【情報の整理・分析】 多様な情報を比較したり、分類したり、関連付けたりしながら整理し、課題に沿って判断するために必要なことを焦点化したり、捉え直したりする。	【他者理解・自己理解】 友達と課題を解決するよさを見出し、異なる立場や考えをもつ相手のことを認め、理解しようとするとともに、高め合いながらよりよい生活をしようとする。
			【まとめ・表現】 相手や目的に応じて、自分の意見や立場の根拠を明確にしながら効果的な方法を工夫して伝える。また、自分自身に関して深い気づきとなるような内省的な考え方が深まるようにする。	【社会参画・社会貢献】 実社会・実生活との関わりを大切にすることで、自己の生き方を考え、社会の一員として実社会・実生活の問題解決に積極的に取り組んでいかうとする。

教科等を越えた全ての学習の基盤となる資質・能力

情報活用能力	言語能力	
探究の過程において情報・情報技術を活用する学習活動 (情報手段の基本的な操作を習得し、主体的に活用できる配慮)	協働して問題を解決しようとする学習活動	言語により分析し、まとめ・表現する学習活動
	考えるための技法(比較・分類・関連付けなど)	